

OA機器、半導体は「多忙」が多く、 見通しはOA機器が生産増、 住宅関連は生産減か。

当センターでは県内の主要発注先を対象に「外注ニーズ調査」を実施しました。受注活動の参考としていただくため、以下に調査結果の概要をお知らせします。なお、後半に掲載している「発注案件」の詳しい内容については、育成支援グループにお問い合わせください。

調査について

目的	県内主要発注企業の外注状況、下請企業に対する技術・加工等のニーズを把握し、下請取引紹介・あっせんの円滑化に資すること。
対象企業	岩手県内所在の発注を主とする登録企業 107社
調査方法	訪問によるヒアリング調査
調査時点	平成20年2月
コメント	製造分野別では、「その他」についてはコメント(解説)していない。

生産状況

(1) 現況

回答企業数107社の生産概況を生産品目総数281品目についてみると、「多忙」とする品目が58品目で20.6%（前年度70品目25.1%）、「適正」が123品目で43.8%（前年度145品目で52.0%）、「余力あり」が100品目で35.6%（前年度64品目22.9%）となっており、前年度と比較して「多忙」が12品目4.5ポイント減少、「適正」が22品目8.2ポイント減少、「余力あり」が36品目12.7ポイント増加している。（図-1）

これを製造分野別にみると、「多忙」はOA機器が40.9%（前年度27.8%）で最も高く、次いで半導体が33.3%（前年度も33.3%）となっている。「適正」は精密機器が66.7%（前年度64.7%）で最も高く、次いで住宅関連が53.8%（前年度84.6%）となっている。「余力あり」は電子部品が66.7%（前年度25.0%）で最も高く、次いで農林機器が63.6%（前年度7.1%）となっている。（図-2）

(2) 見通し

今後の見通しを生産品目総数281品目についてみると、「上昇」が43品目15.3%（前年度57品目20.4%）、「横ばい」が168品目59.8%（前年度177品目63.4%）、「減少」が70品目24.9%（前年度45品目16.1%）となっており、前年度と比較して「上昇」が14品目5.1ポイント減少、「横ばい」が9品目3.6ポイント減少、「減少」が25品目8.8ポイント増加している。（図-3）

これを製造分野別にみると、「上昇」はOA機器が22.7%（前年度22.2%）で最も高く、次いで一般機器が21.0%（前年度24.6%）となっている。「横ばい」は精密機器と通信機器がともに66.7%（前年度それぞれ52.9%、57.7%）で最も高くなっている。

「減少」は住宅関連が46.2%（前年度7.7%）で最も高く、次いで農林機器が45.5%（前年度0.0%）となっている。（図-4）

図-1

生産品目でみる現況
(合計281品目)

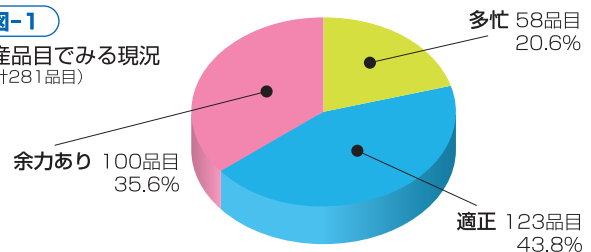


図-2

製造分野別でみる現況

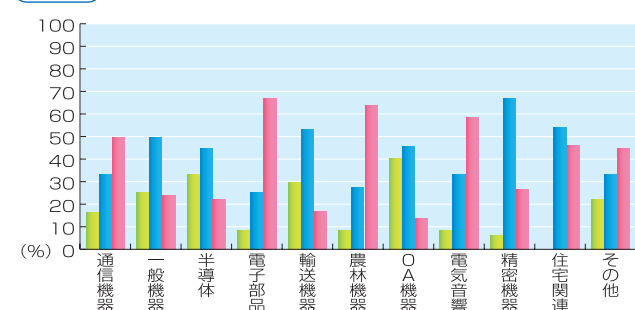


図-3

生産品目でみる見通し
(合計281品目)

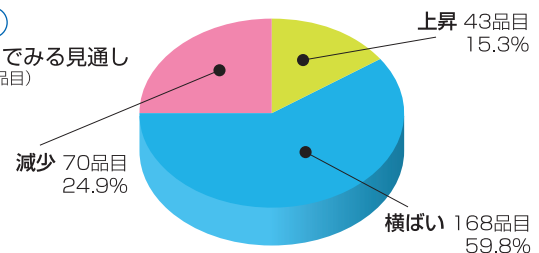


図-4

製造分野別でみる見通し

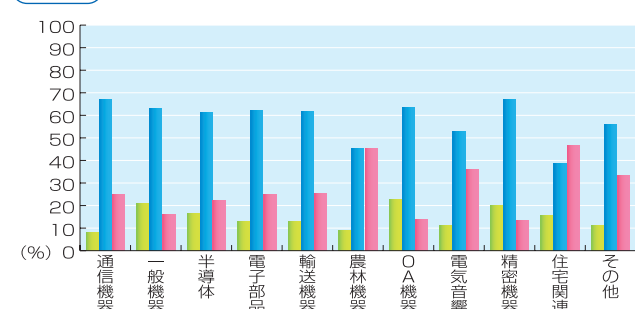


図-5

県内外別外注企業数
(合計3,857社)

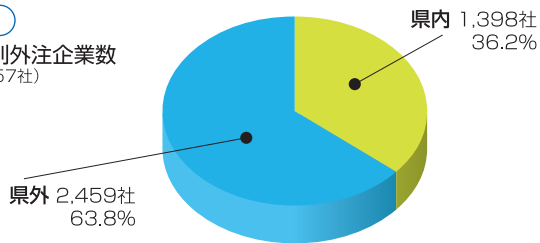


図-7

県内外別外注金額
(合計5,166億円)

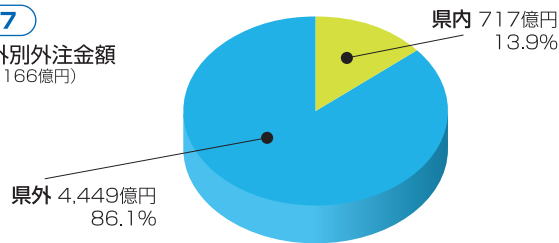


図-6 製造分野別外注企業割合

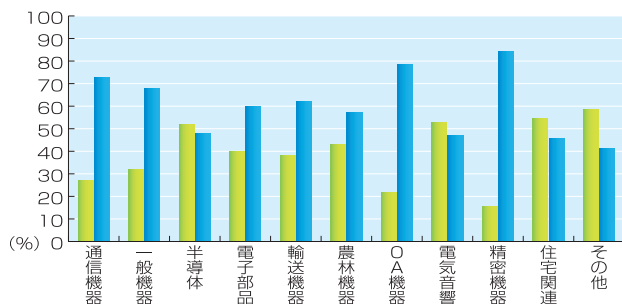


図-8 製造分野別外注金額の割合

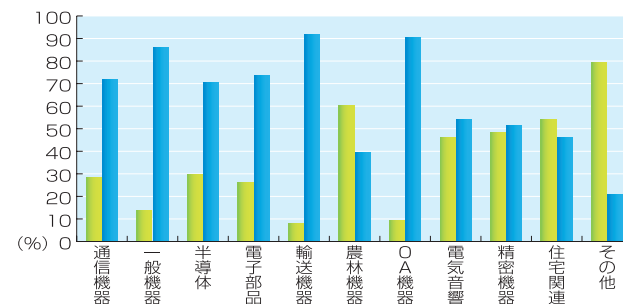
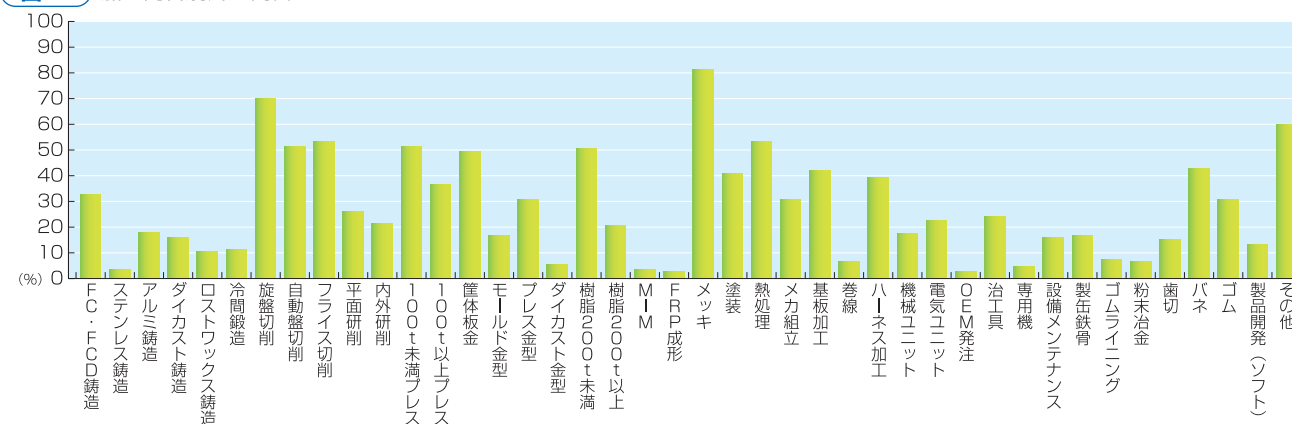


図-9 加工内容別外注割合



外注状況

(1) 外注企業数

回答企業107社が外注している企業数は3,857社(延べ数、以下同じ)あり、これを県内外別で見ると、「県内」が1,398社で36.2%(前年度1,152社35.5%)、「県外」が2,459社で63.8%(前年度2,097社64.5%)となっており、前年度と比較して「県内」の割合がやや増加している。(図-5)

これを製造分野別にみると、一般機器が832社で最も多く、次いで半導体が539社、精密機器が454社となっている。

さらに県内外別で県内外注の割合が高い製造分野は、住宅関連の39社54.9%、電気音響の185社53.0%、半導体の279社51.8%となっている。

逆に県外外注の割合が高い製造分野は、精密機器の382社84.1%、OA機器の309社78.6%、通信機器の191社72.9%となっている。(図-6)

(2) 外注金額

回答企業107社の1年間での外注総額は、5,165億4,896万円(前年度は101社で3,908億2,109万円)となっている。

このうち県内外注は716億5,346万円で13.9%(前年度722億1,844万円18.5%)、県外外注は4,448億9,550万円で86.1%(前年度3,186億265万円81.5%)となっている。(図-7)

これを製造分野別にみると、県内外注は農林機器が60.1%で最も高く、次いで住宅関連が53.9%、精密機器が48.4%となっている。

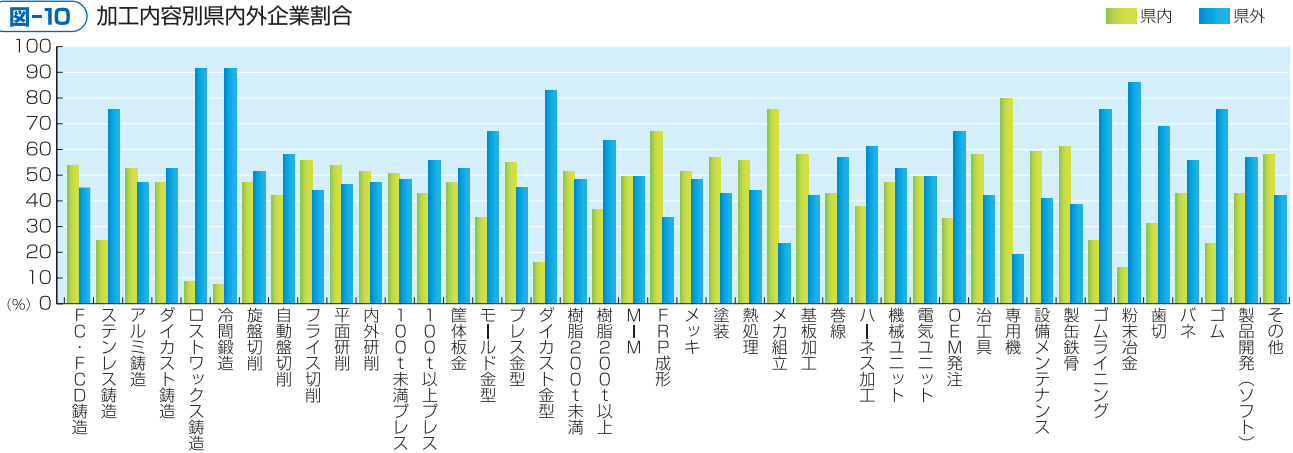
一方、県外外注についてみると、輸送機器が91.8%で最も高く、次いでOA機器が90.3%、一般機器が86.5%となっている。(図-8)

外注している加工内容

回答企業107社が外注している加工内容を見ると、「メッキ」が87社81.3%と最も高く、次いで「旋盤切削」の75社70.1%、「フライス切削」と「熱処理」の57社53.3%となっている。(図-9)

これを県内外別にみると、県内は「専用機」が80.0%で最も高く、次いで「メカ組立」が75.8%、「FRP成形」が66.7%となっている。県外は「冷間鍛造」が91.7%で最も高く、次いで「ロストワックス鋳造」が90.9%、「粉末冶金」が85.7%となっている。(図-10)

図-10 加工内容別県内外企業割合



県内外注企業に対する要望

県内発注企業の県内外注企業に対する要望は、「コストダウンへの対応力」が64社(59.8%)、「短納期化への対応力」が63社(58.9%)、「加工精度」39社(36.4%)、「多種少量生産への対応力」38社(35.5%)、「管理体制のレベル」32社(29.9%)となっている。(図-11)

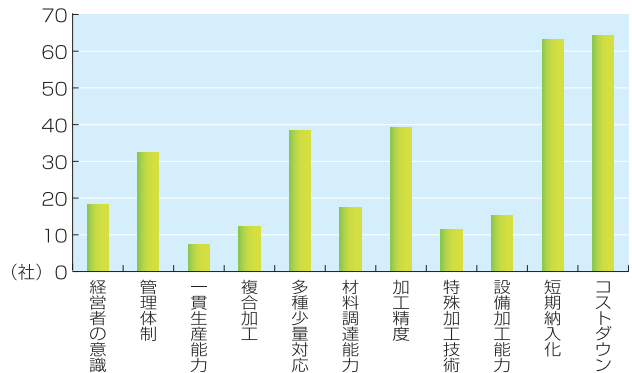
発注案件

調査対象企業に「現在、県内企業に発注できる案件があるか」、「今後、新たに生じる発注案件があるか」について質問した結果は、次のとおりである。

(1) 現在、県内企業に発注することが可能な案件

- 機械装置、設計、3次元CAD利用
- 空気圧機器/MC加工
- 銅の曲・穴加工(厚さ10ミリ)
- 制御盤/制御盤組立、配線
- コネクター/プレス、モールド金型、メッキ
- 旋盤・フライス加工、板金
- 金型/部品の機械加工
- 計測器/精密板金(価格が折り合えば発注可 月3~10/ロット)
- 産業制御基板/基板実装・組立
- 板金加工/ホルダー
- 機械加工/旋盤、フライス
- コンデンサ/外観検査
- スチール枠/枠加工から塗装
- 機械加工(樹脂・金属)・板金/樹脂・アルミ・SUSのフライス・旋盤、精密板金
- 精密板金、筐体
- 電解研磨、ワイヤー加工、研磨加工/一般材料の機械加工
- 制御盤/板金加工、組立配線
- プレス、樹脂成形、切削
- アイドラシャフト/NC、MC加工
- プリンター/成形、板金、組立、基板実装、ハーネス

図-11 外注企業に対する要望



- 研削専用機/鉄
- 切削、研削、表面処理/現在発注している県外企業より、品質、価格、納期面が勝れている企業
- 金属加工(旋盤、フライス)
- ピストンリング/メッキ、切削加工、研磨加工等/各種表面処理
- プレス金型/金型製作

(2) 今後、新たに生じる発注案件

- UV装置
- 基盤ASSY(鉛フリー) ※社内実装機を撤去する為
- 空気圧機器/MC加工
- スチール枠
- 機械加工(樹脂・金属)・板金/高精度(研磨・ワイヤー・放電)
- 精密板金、筐体、電気配線施工
- Wのウォータージェット加工(試作)
- マイクロバブルテスター/精密機械の部品加工
- 切削、研削、表面処理/現在発注している県外企業より、品質、価格、納期面が勝れている企業
- 半導体関連、産業機器関連部品/旋盤加工(丸物)
- ワイヤーハーネス用自動車部品、精密コネクタ/樹脂成形200t未満

お問い合わせ先

育成支援グループ TEL 019-631-3822 FAX 019-631-3830

URL <http://www.joho-iwate.or.jp/torihiki/> E-mail sitauke@joho-iwate.or.jp